



速報 「プラスチック」のイメージ調査(第5回)

調査期間 2020年7月3日～13日

日本プラスチック工業連盟



「プラスチック」のイメージ調査(2020年) アンケート調査の方法

- 調査対象 : 全国の満20歳以上男女
- 標本サイズ : 4,000人「 4,000人」
- 有効回収数 : 1,202人(30.1%)「 1,201人(30.0%)」
- 標本抽出法 : 層化副次(三段)無作為抽出法

市郡規模	21大都市		その他の市		町・村		総数
	364		730		108		1,202人
	「324」		「756」		「121」		「1,201」
性別	男 性		女 性		総数		
	578		624		1,202 人		
	「547」		「654」		「1,201」		
年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	総数
	120	170	201	189	204	318	1,202 人
	「105」	「178」	「225」	「189」	「220」	「284」	「1,201」

- 調査方法 : 調査員による個別面接聴取法
- 調査時期 : 2020年7月3日～13日
- 調査機関 : 一般社団法人 中央調査社

「 」は2016年のデータ



「プラスチック」のイメージ調査(2020年) アンケート調査の質問の目的

■ 継続質問

- 【問1】「プラスチック」の全体的な印象に関して自由な回答を得ること
- 【問2】「プラスチック」の各個別質問に対して印象を明らかにすること
- 【問3】「他材料」と比較して「プラスチック」の全体的な印象を明らかにすること
- 【問4】「プラスチック」の特徴、利用に関してその認知度を明らかにすること
- 【問5】「プラスチック」の資源循環、海洋プラスチック問題に関して意見、回答を得ること

■ 新規質問

- 【問6】焼却によるエネルギーリカバリーの賛否について、またその理由を明らかにすること
- 【問7】「プラスチック」に利用される原油は、国内で使用される原油総量のどのくらいに相当するか、その定量的なイメージを明らかにすること
- 【問8】リサイクルされたプラスチックの価格・品質と購買意識との関係性を明らかにすること
- 【問9】購買における値ごろ感(受け入れ可能価格)の回答を得ること。
バイオプラスチック(バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック)

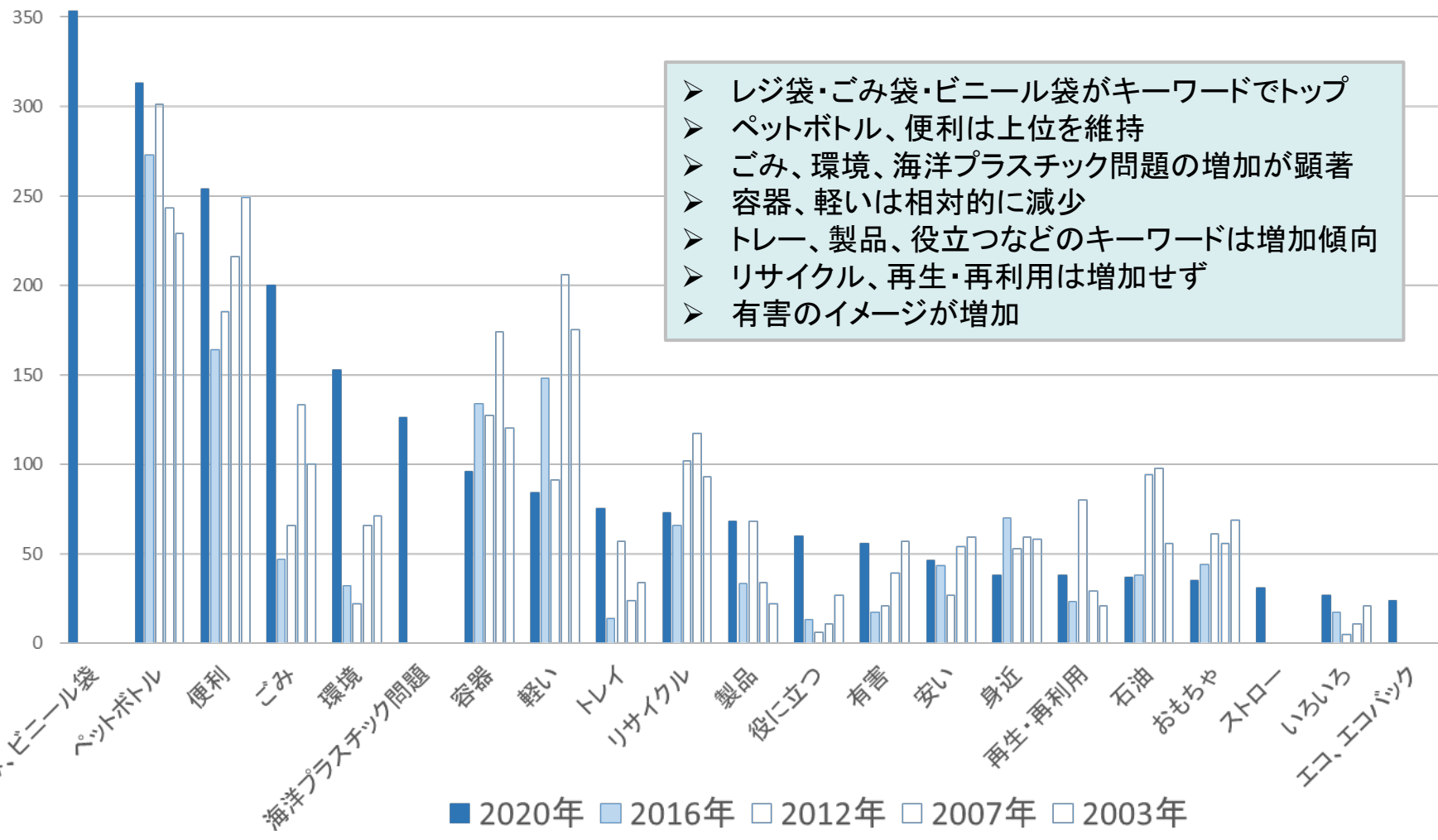


2003～2020年度 継続質問事項(問1～問5)

「プラスチック」のイメージ(自由回答)

回答キーワードの上位項目(1/2)

Q1 あなたは、「プラスチック」と聞いて、どんなことが思い浮かびますか。
どんなことでも結構ですので、思い浮かぶことを3つまであげてください。

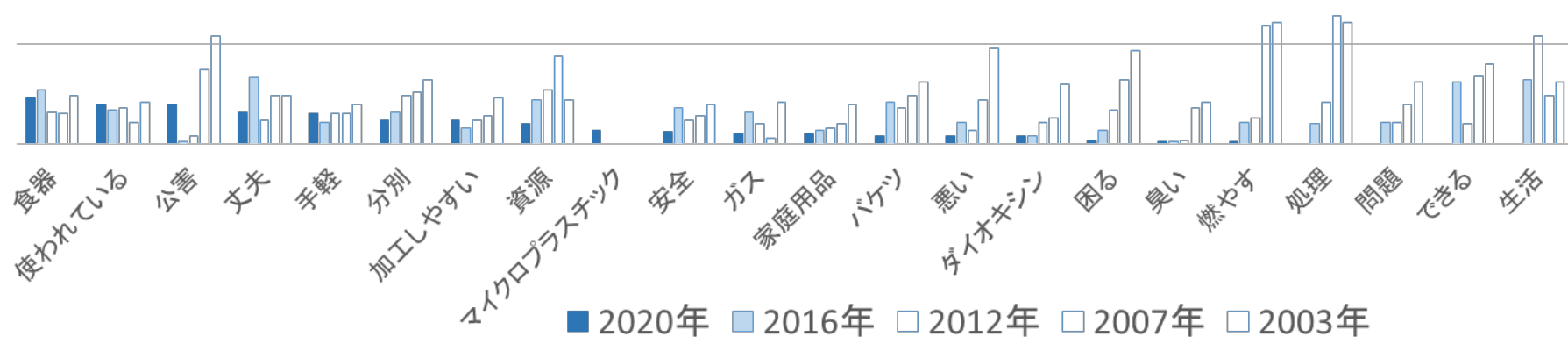


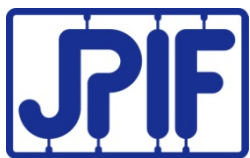
- レジ袋・ごみ袋・ビニール袋がキーワードでトップ
- ペットボトル、便利は上位を維持
- ごみ、環境、海洋プラスチック問題の増加が顕著
- 容器、軽いは相対的に減少
- トレー、製品、役立つなどのキーワードは増加傾向
- リサイクル、再生・再利用は増加せず
- 有害のイメージが増加

「プラスチック」のイメージ(自由回答) 回答キーワードの上位項目(2/2)

Q1 あなたは、「プラスチック」と聞いて、どんなことが思い浮かびますか。
どんなことでも結構ですので、思い浮かぶことを3つまであげてください。

- 燃やす、ダイオキシン問題はほぼ消滅
- マイクロプラスチック問題が新たに出現

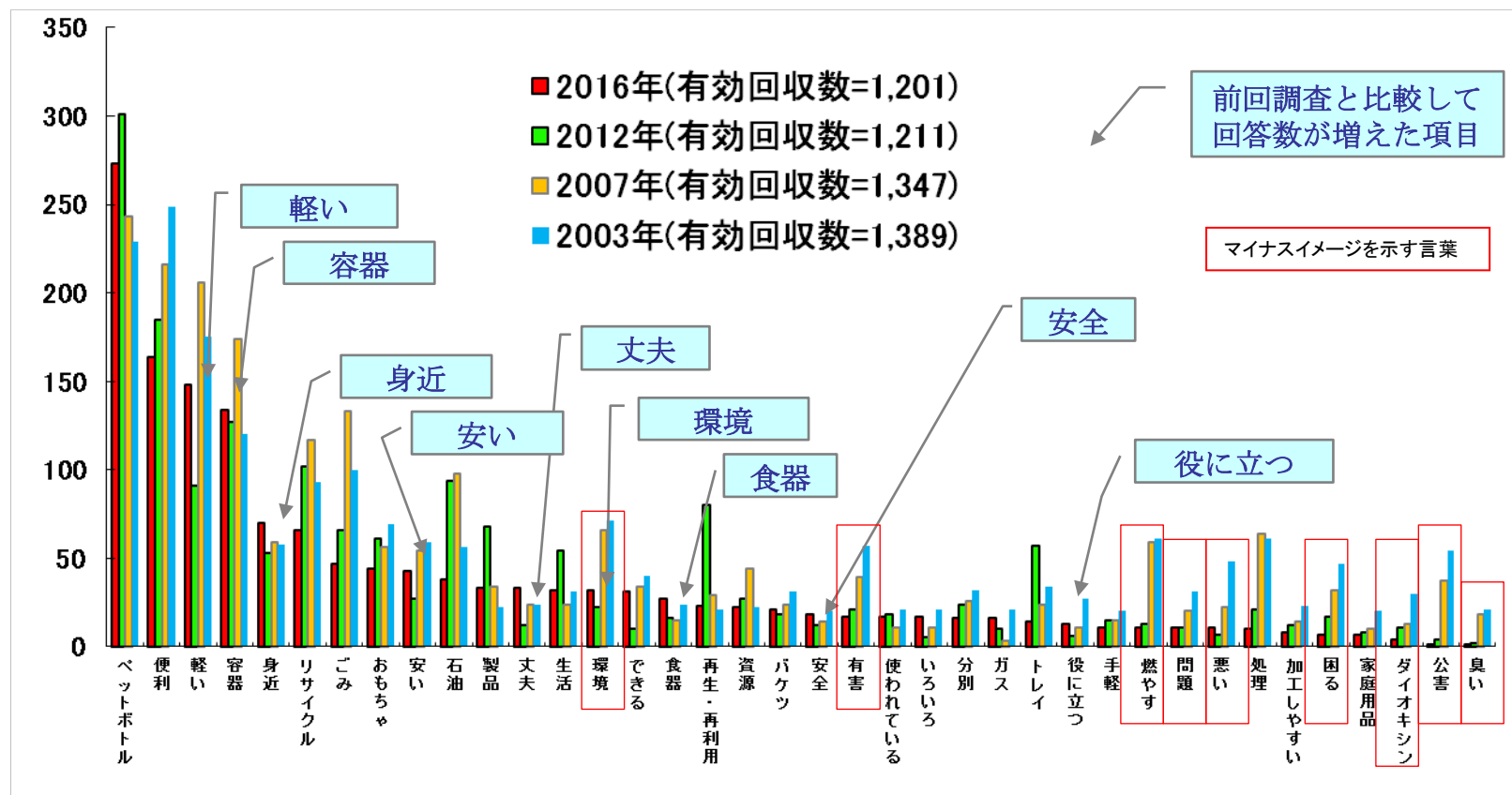




「プラスチック」のイメージ(自由回答) 回答キーワードの上位項目

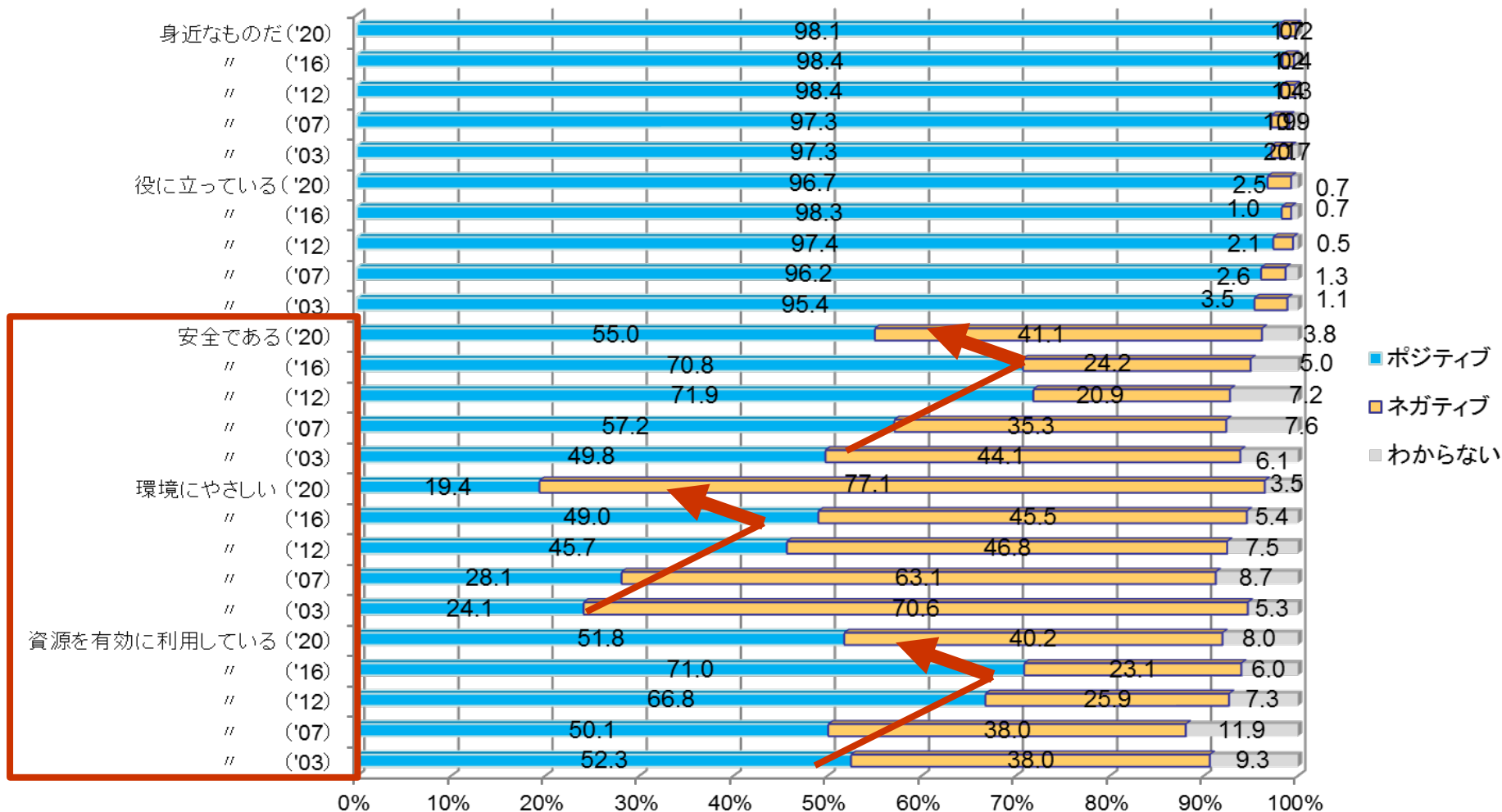
Q1 あなたは、「プラスチック」と聞いて、どんなことが思い浮かびますか。どんなことでも結構ですので、思い浮かぶことを3つまであげてください。

回答数



プラスチックに対する印象

Q2 あなたは、「プラスチック」に対して、どのような印象をお持ちですか。ここ(回答票)にあげた(1)～(3)までの、ことがらのそれぞれについて、(ア)「全くそう思う」～(カ)「全くそう思わない」でお答えください。



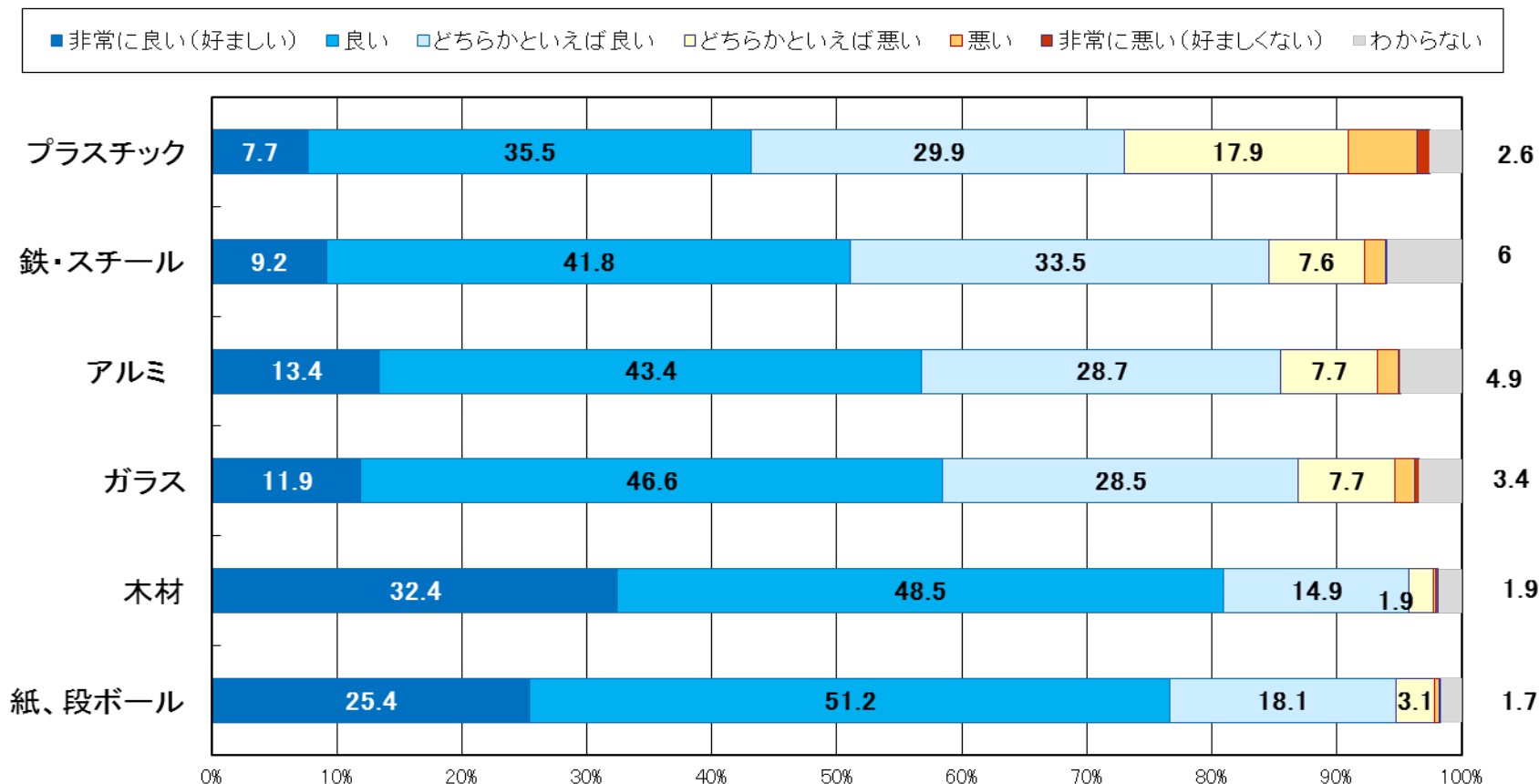
- 「身近なもの、役に立っている」: 20年調査までポジティブなイメージを継続
- 「安全、環境、資源有効利用」: 16年調査までポジティブに改善してきたが20年調査で悪化

日常生活で使われているさまざまな材料の好感度(1/3)

～ 2020年調査結果まとめ ～

(プラスチック／鉄・スチール／アルミ／ガラス／木材／紙、段ボール)

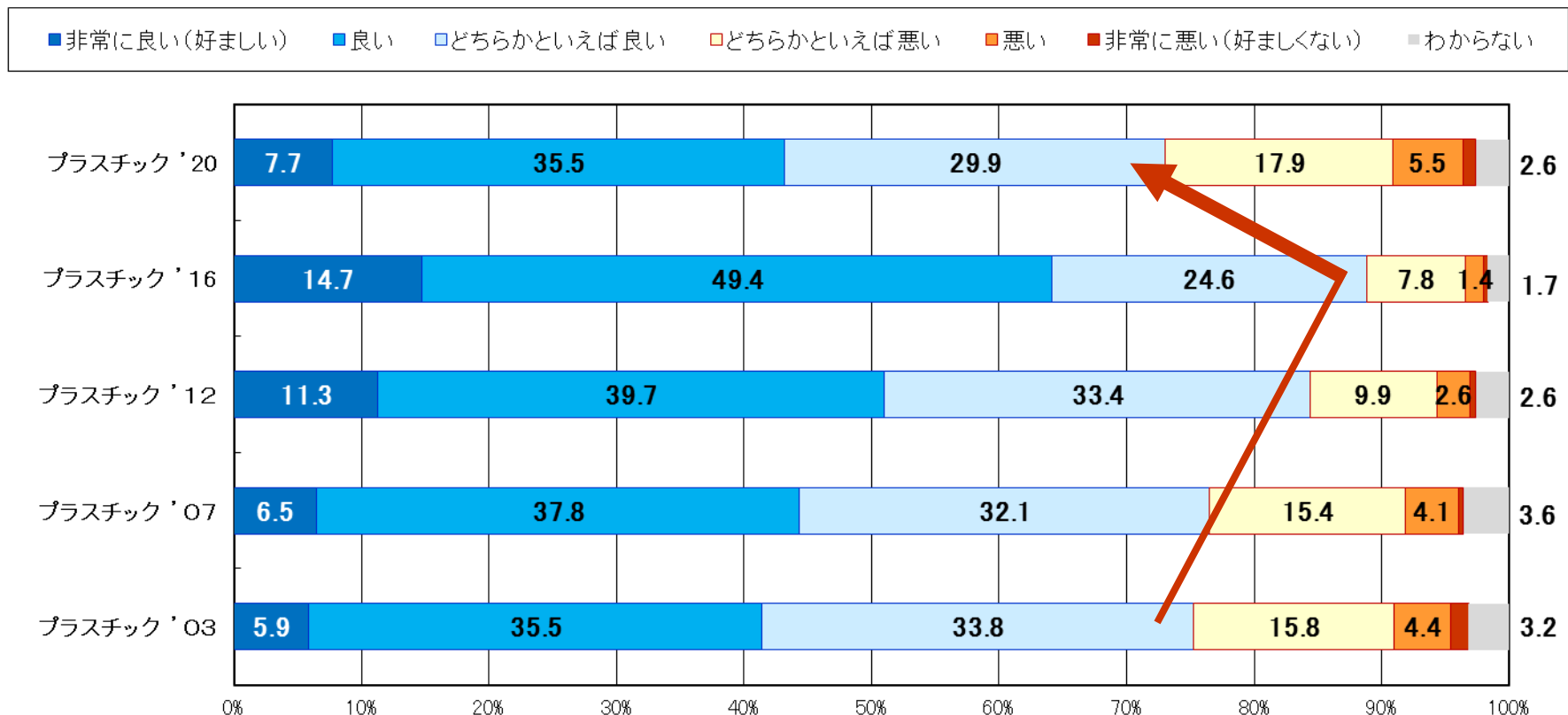
Q3 日常生活で使われているさまざまな材料についておききします。ここ(回答票)にあげた(1)～(6)の6つの材料について、あなたは良い印象をお持ちですか、悪い印象をお持ちですか。それぞれの材料にあなたが感じる全体的な印象として、(ア)「非常に良い(好ましい)」～(カ)「非常に悪い(好ましくない)」の中からお答えください。



➤ プラスチックは他材料と比べ、相対的に好感度が低い状況にある

日常生活で使われているさまざまな材料の好感度(2/3) ～ 2003年-2020年 プラスチック好感度推移 ～

Q3 日常生活で使われているさまざまな材料についておききします。ここ(回答票)にあげた(1)～(6)の6つの材料について、あなたは良い印象をお持ちですか、悪い印象をお持ちですか。それぞれの材料にあなたが感じる全体的な印象として、(ア)「非常に良い(好ましい)」～ (カ)「非常に悪い(好ましくない)」の中からお答えください。

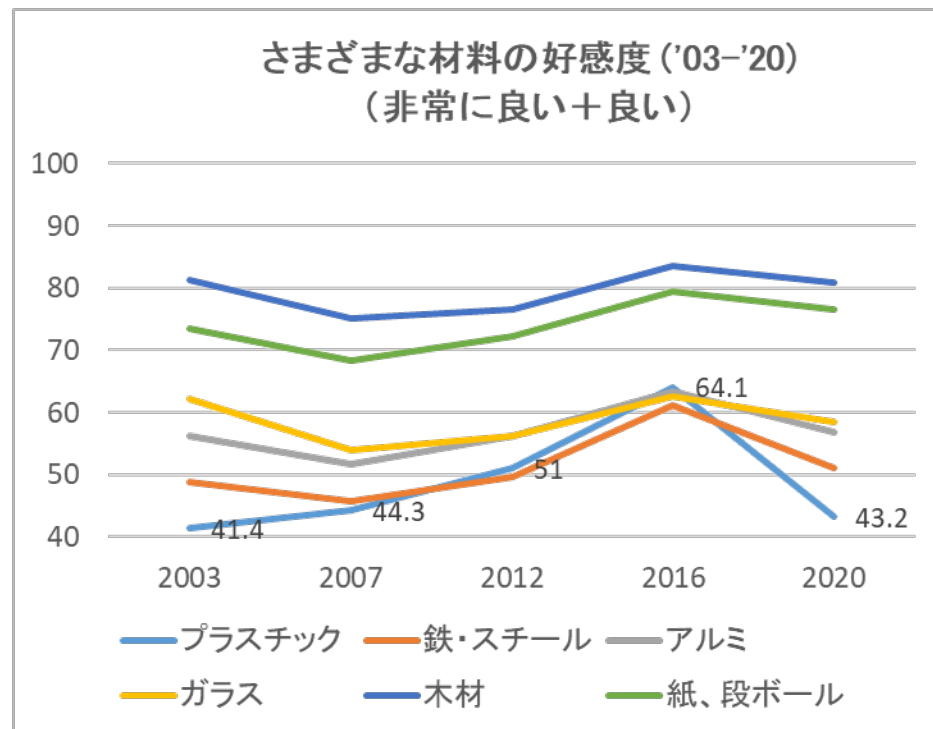
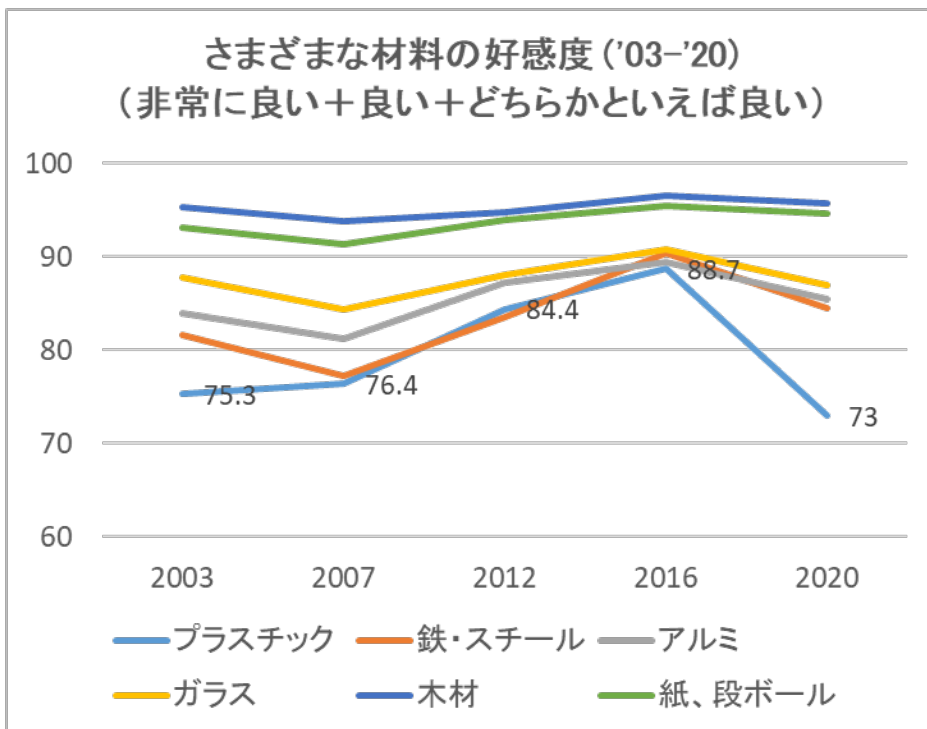


- 16年調査までプラスチックの良い印象が増加してきたが、20年調査で印象が悪化
- どちらかといえば良いまでを加えれば、ポジティブな意見が70%以上ではある

日常生活で使われているさまざまな材料の好感度(3/3)

～ 2003年-2020年 各材料の好感度推移 ～

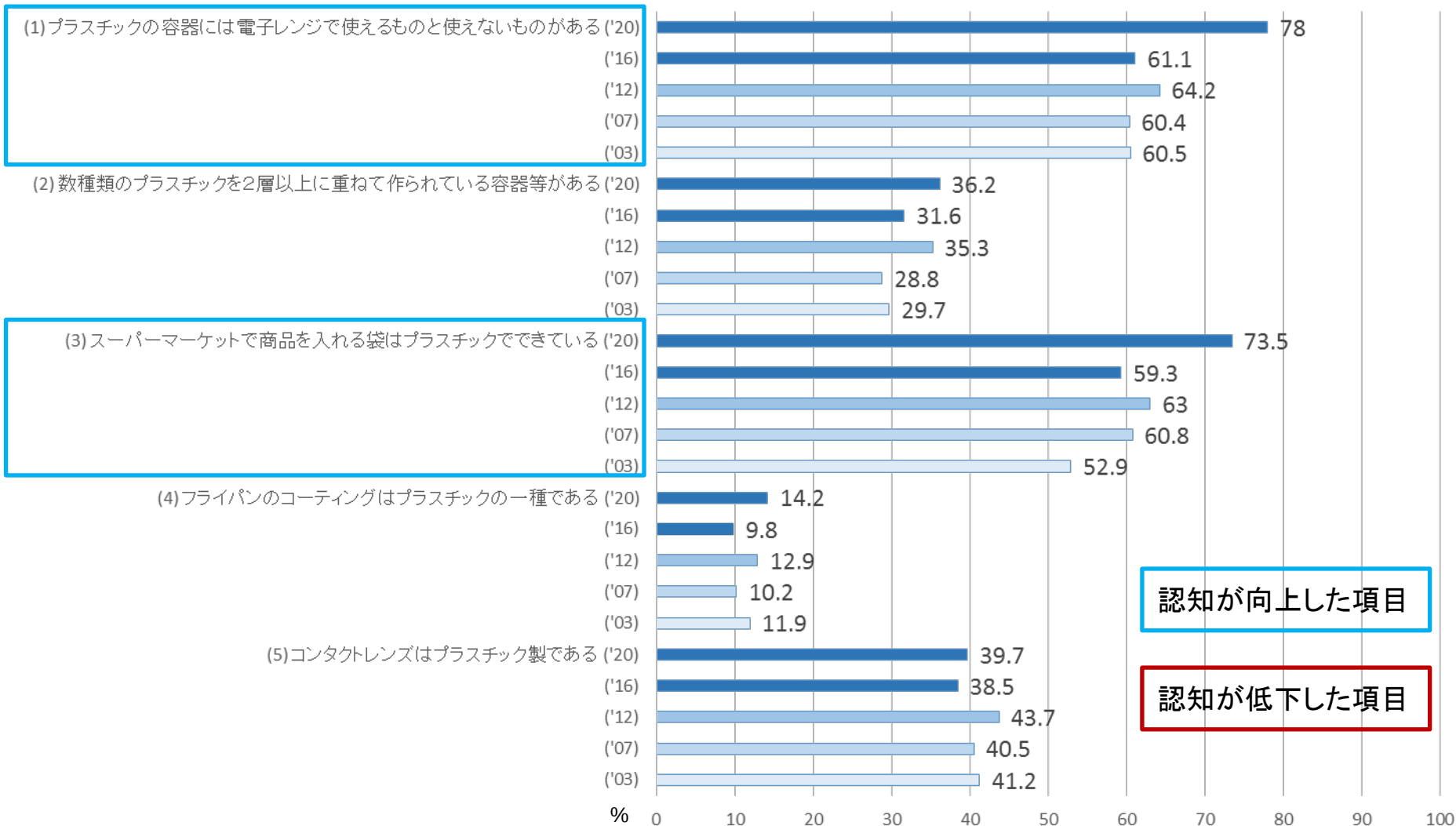
(プラスチック／鉄・スチール／アルミ／ガラス／木材／紙、段ボール)



- プラスチックは2016年調査まで一貫して好感度が向上してきており、2016年には鉄・スチール、アルミ、ガラスと概ね同様なイメージまで改善
- プラスチックは2020年調査で好感度が大きく悪化し、概ね2003年調査結果に戻ってしまった
- 木材、紙、段ボールは2003年～2020年の調査で一貫して高い好感度を有している

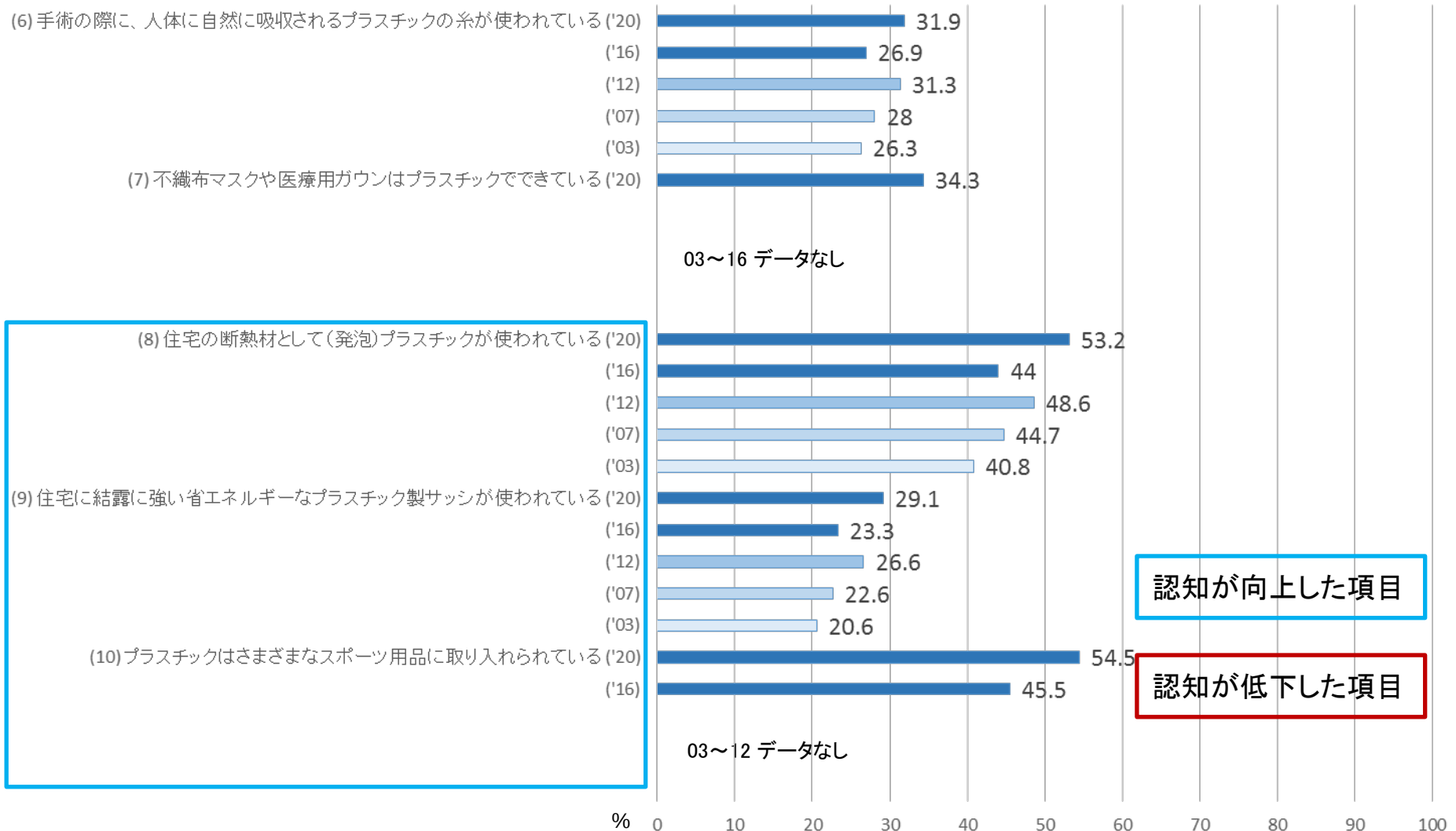
プラスチックの特長・利用方法の認知(1／3)

Q4 プラスチックにはさまざまな種類があり、特長を生かして生活や産業のさまざまな分野で利用されています。
 ここ(回答票)にあげたプラスチックの特長や利用方法について、あなたがお存じのものをいくつかあげてください。



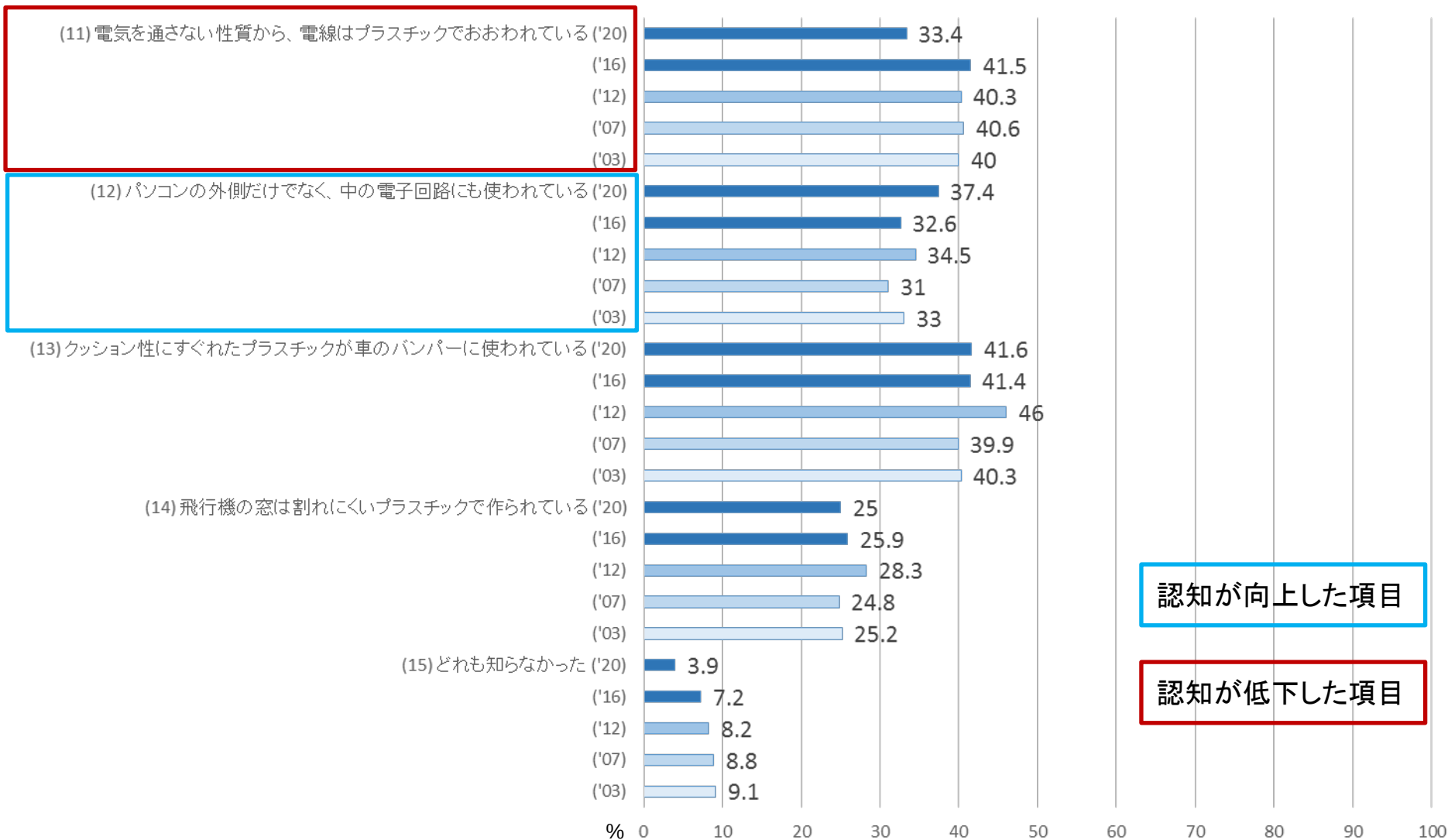
プラスチックの特長・利用方法の認知(2／3)

Q4 プラスチックにはさまざまな種類があり、特長を生かして生活や産業のさまざまな分野で利用されています。
 ここ(回答票)にあげたプラスチックの特長や利用方法について、あなたがご存じのものをいくつでもあげてください。



プラスチックの特長・利用方法の認知(3／3)

Q4 プラスチックにはさまざまな種類があり、特長を生かして生活や産業のさまざまな分野で利用されています。
 ここ(回答票)にあげたプラスチックの特長や利用方法について、あなたがご存じのものをいくつでもあげてください。

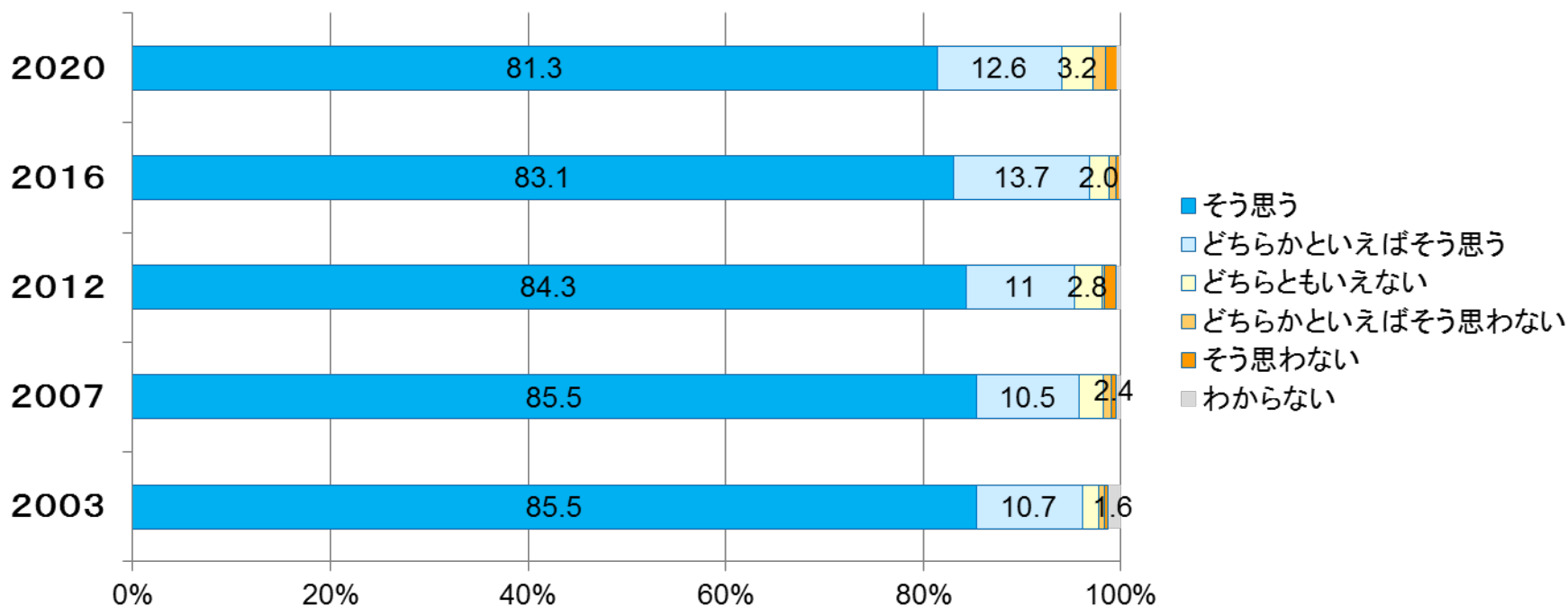


プラスチック資源循環と海洋プラスチック問題(1/4)

Q5 (回答票)ここにあげた、プラスチックの資源循環と海洋プラスチック問題に関する意見について、あなたはどのように思われますか。(1)と(2)のそれぞれについて、(ア)「そう思う」～(オ)「そう思わない」の中からお答えください。

(1) 分別収集してリサイクルの必要性について

問5-(1) ペットボトルやプラスチック容器については、分別収集して、リサイクルすべきである

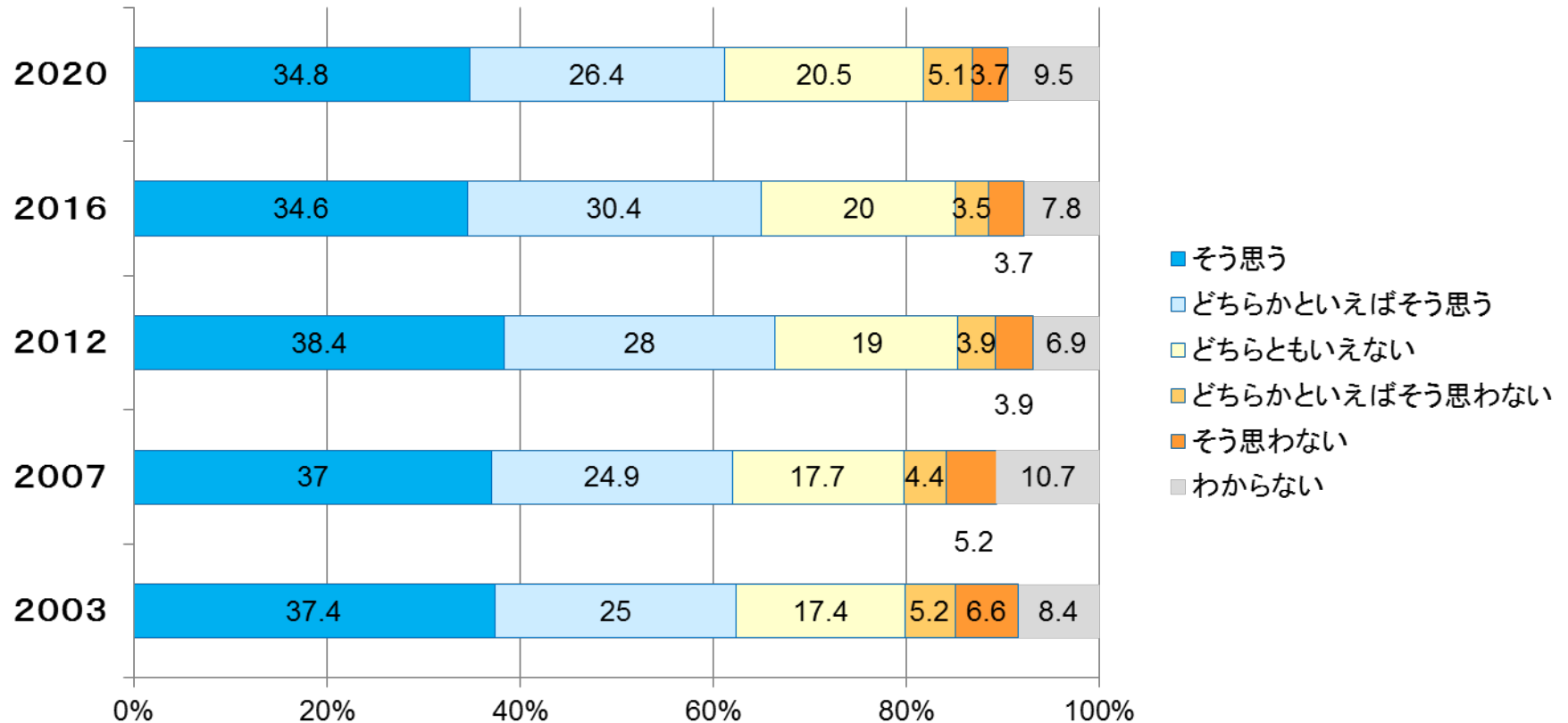


➤ 分別収集してのリサイクルの必要性は、90%を超える高いレベルで認識されている

プラスチック資源循環と海洋プラスチック問題(2/4)

(2)サーマルリカバリーについて

問5-(2) プラスチック製品の中で材料リサイクルすることが困難な製品(汚れ、複合材等)を処理するには、焼却して発電等に利用するのが賢明な方法である

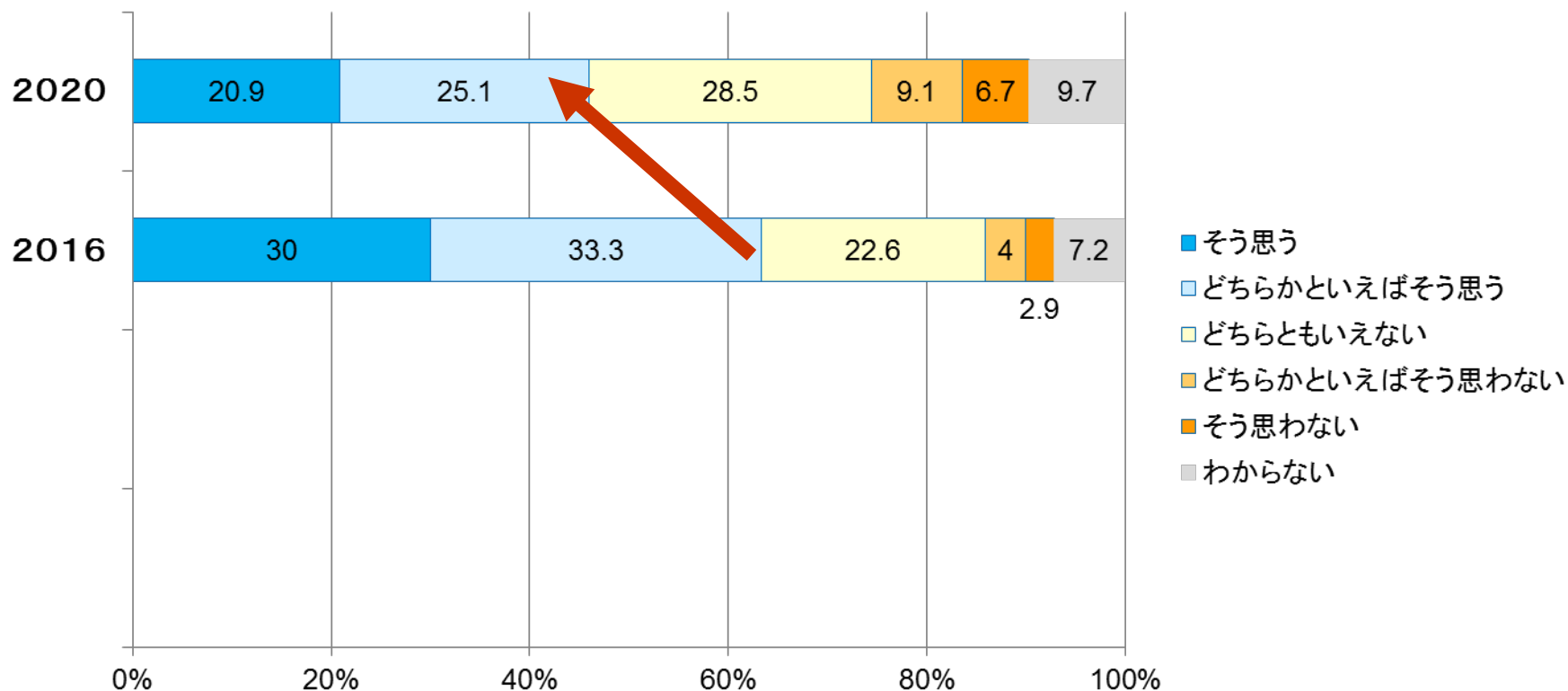


➤ サーマルリカバリーを肯定的に捉えている意見は60%強を維持しており、ほとんど変化がない

プラスチック資源循環と海洋プラスチック問題(3/4)

(3) 循環型社会への貢献について

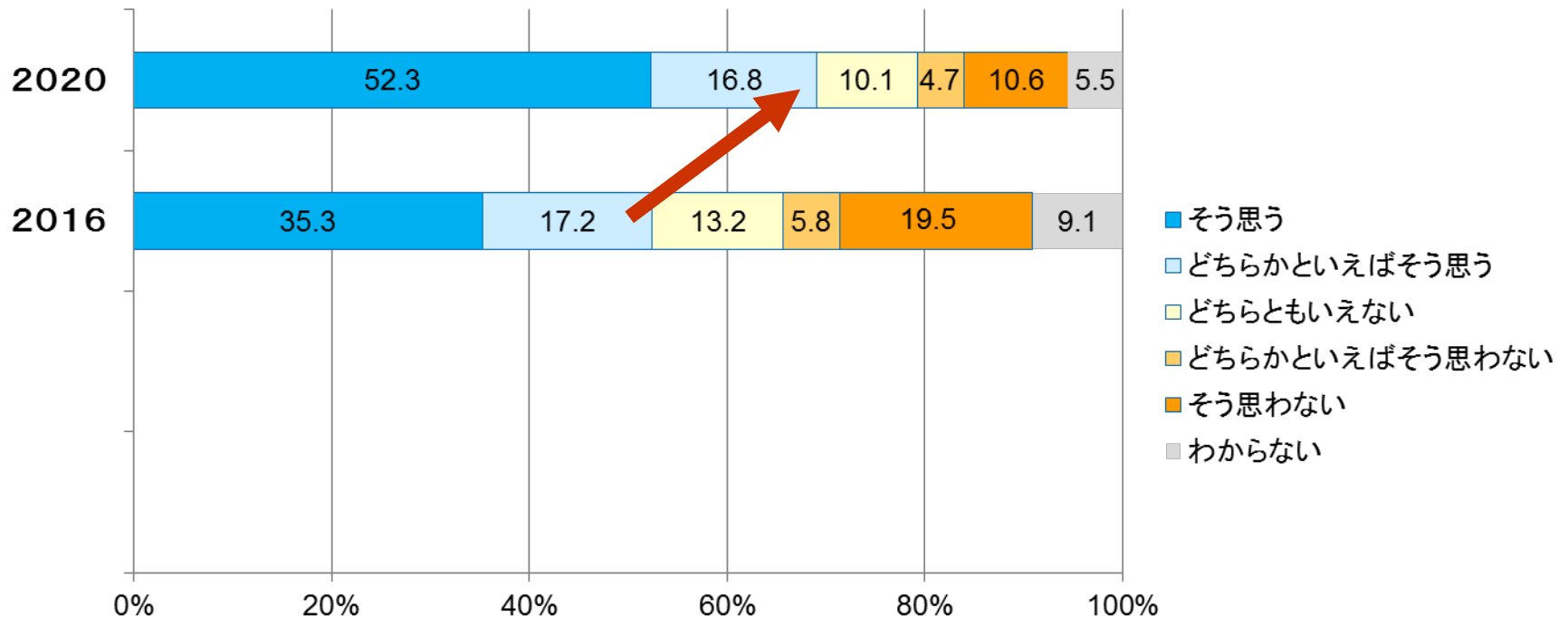
問5-(3)「プラスチック」は循環型社会の形成に貢献している



➤ 「循環型社会への貢献をしているか」との認識は、20年調査で顕著に悪化した

(4) ポイ捨てが海洋プラスチック問題につながるか

問5-(4) プラスチック製品は町でポイ捨てしても海洋ごみになる



➤ ポイ捨てが海洋プラスチック問題に繋がっているとの認識は、消費者の中に広がっている

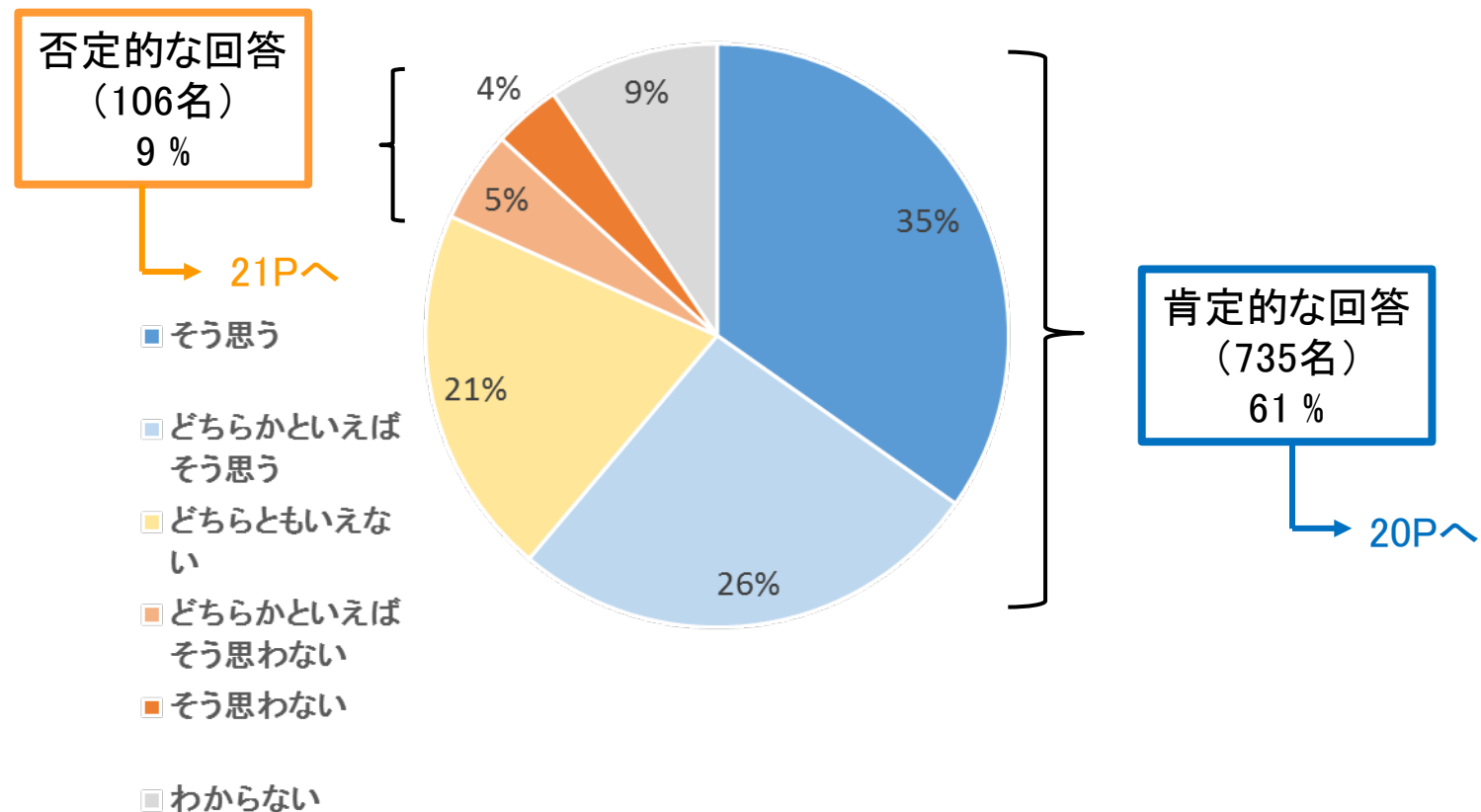


2020年度 新規質問事項(問6～問9)

サーマルリカバリーの是非の理由について

【参考】問5-(2)「プラスチック製品の中で材料をリサイクルすることが困難な製品(汚れ、複合材料等)を処理するには、焼却して発電等に利用するのが賢明な方法である」

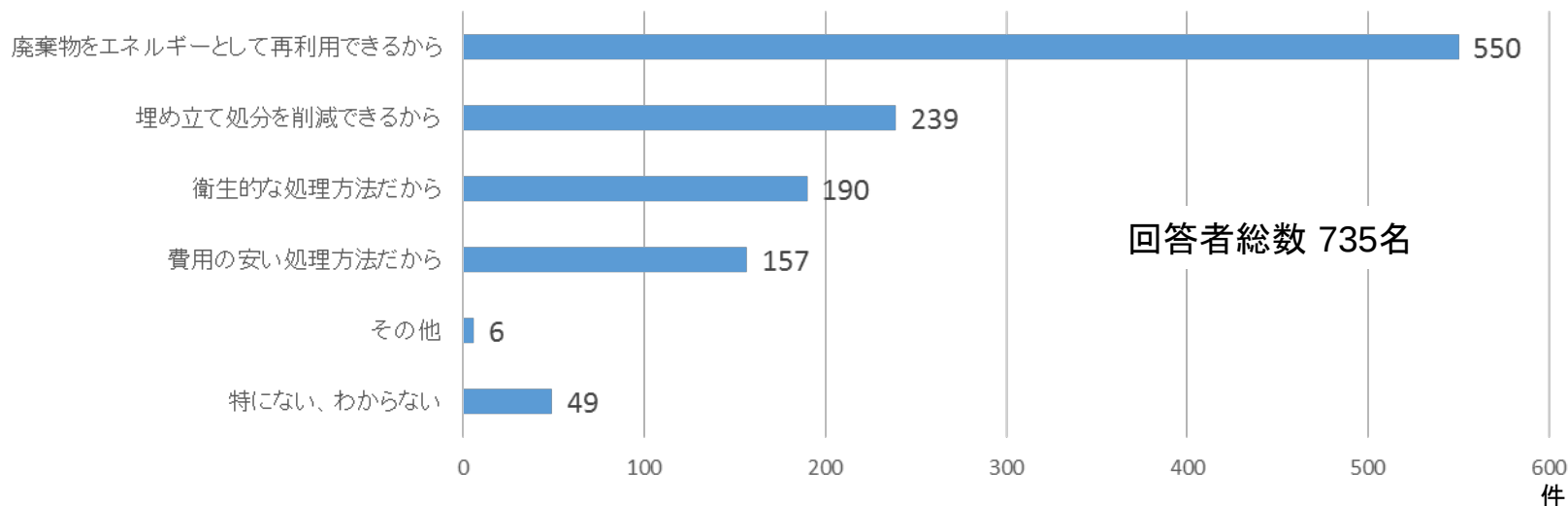
サーマルリカバリーの是非について



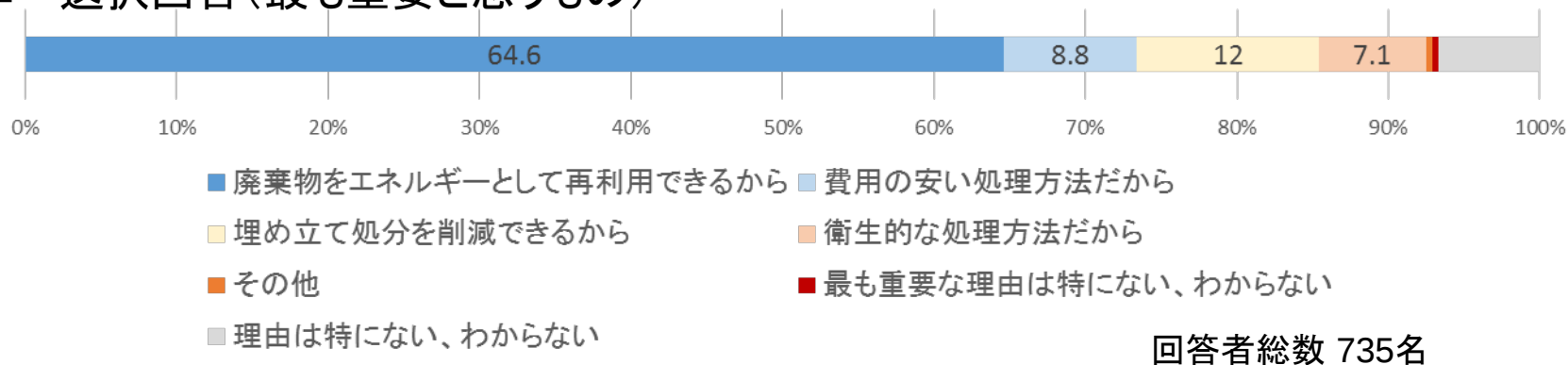
サーマルリカバリーに肯定的な理由について

問6(回答票)「プラスチック製品の中で材料をリサイクルすることが困難な製品(汚れ、複合材料等)を処理するには、焼却して発電等に利用するのが賢明な方法である」に対して肯定的な意見の理由について

(1) 複数選択回答



(2) 単一選択回答(最も重要と思うもの)

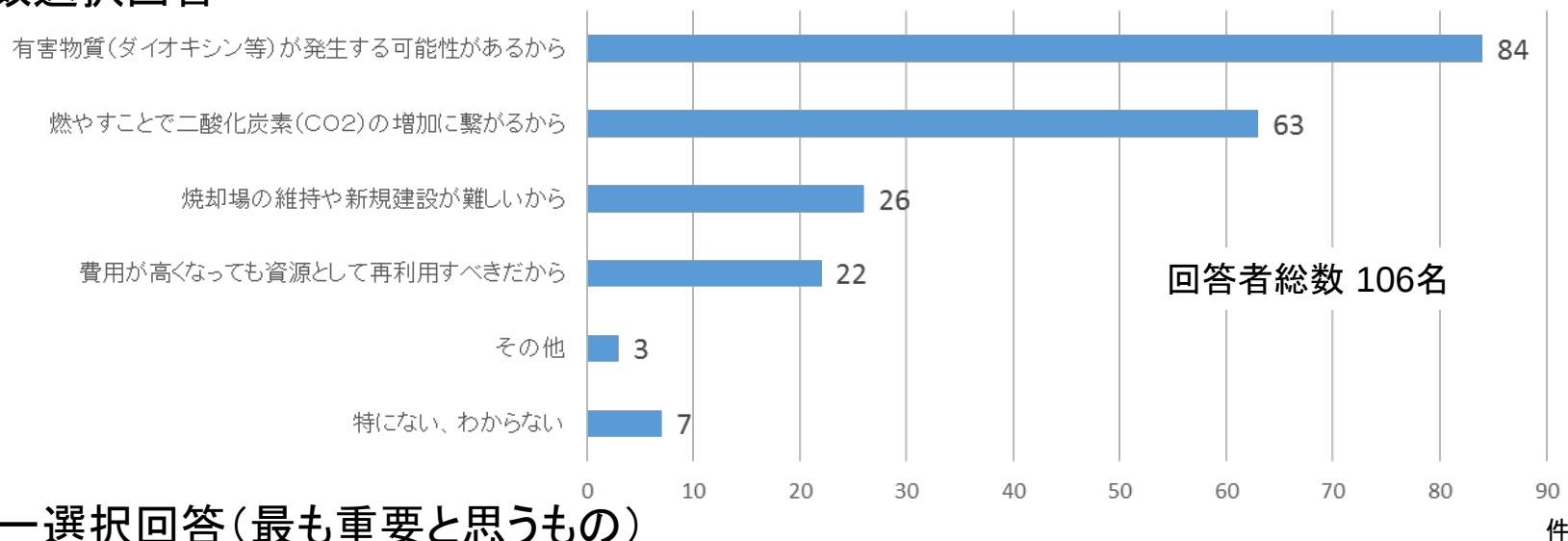


➤ サーマルリカバリーは消費者に受け入れられており、エネルギーの有効利用と理解されている

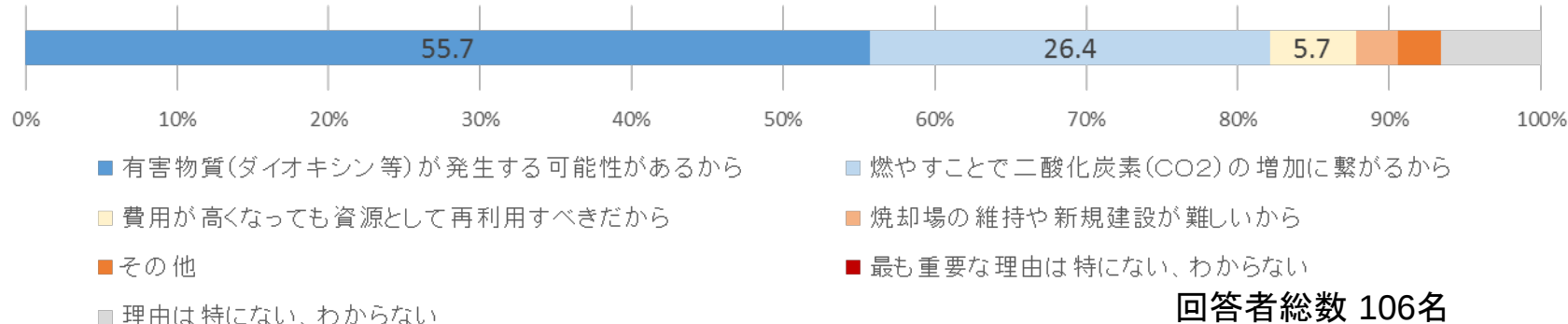
サーマルリカバリーに否定的な理由について

問6(回答票)「プラスチック製品の中で材料をリサイクルすることが困難な製品(汚れ、複合材料等)を処理するには、焼却して発電等に利用するのが賢明な方法である」に対して否定的な意見の理由について

(1) 複数選択回答



(2) 単一選択回答(最も重要と思うもの)

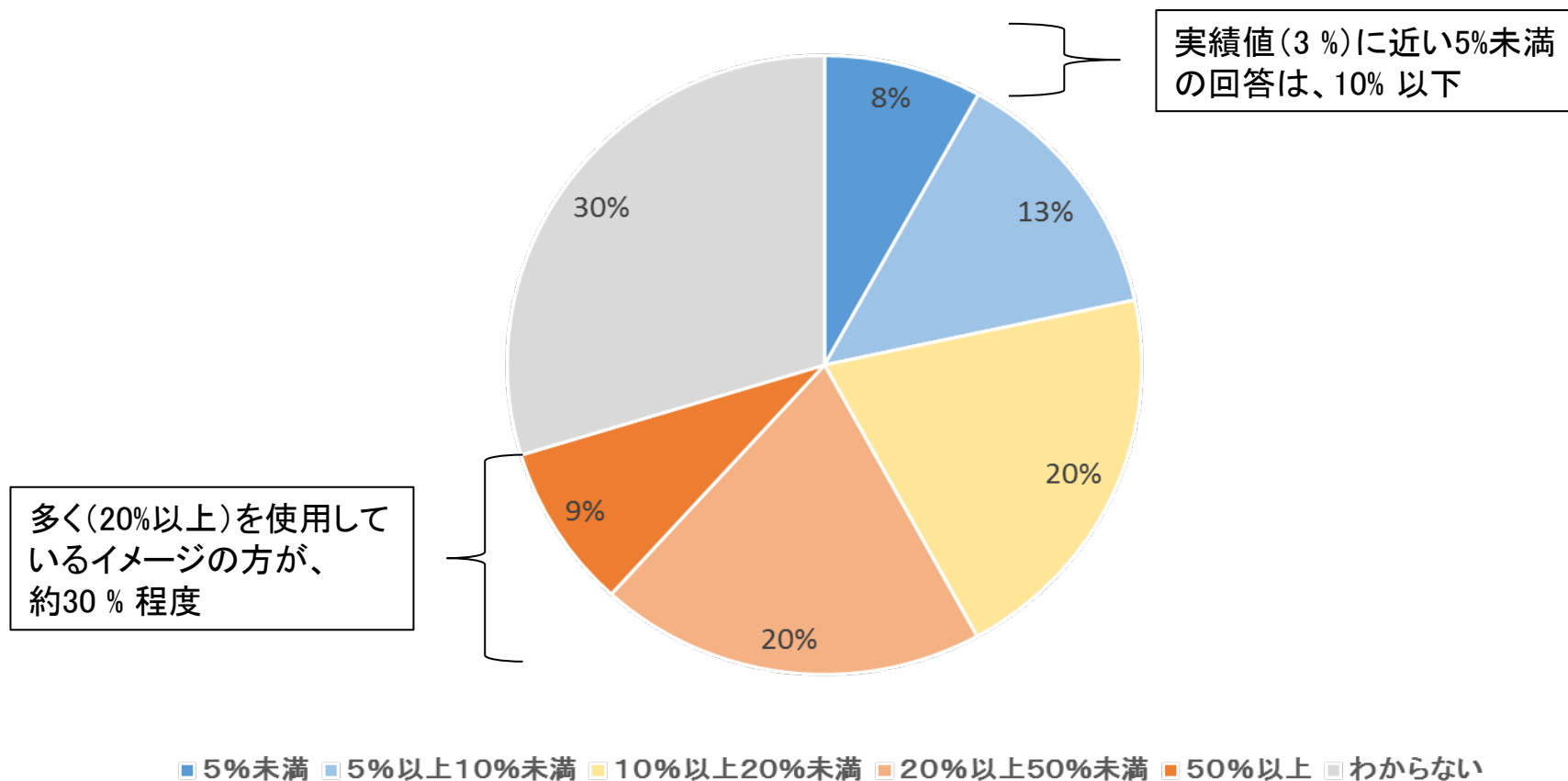


➤ 有害物の発生が最も懸念され、二酸化炭素の発生増加に繋がるとの意見も多い

プラスチックになる原油の割合のイメージ

Q7(回答票) 日本国内で使われる原油の総量のうち、「プラスチック」になる原油は全体の何%にあたると思いますか。
あなたの考えに最も近いものをこの中から1つだけお答えください

プラスチックになる原油の割合のイメージ(国内)

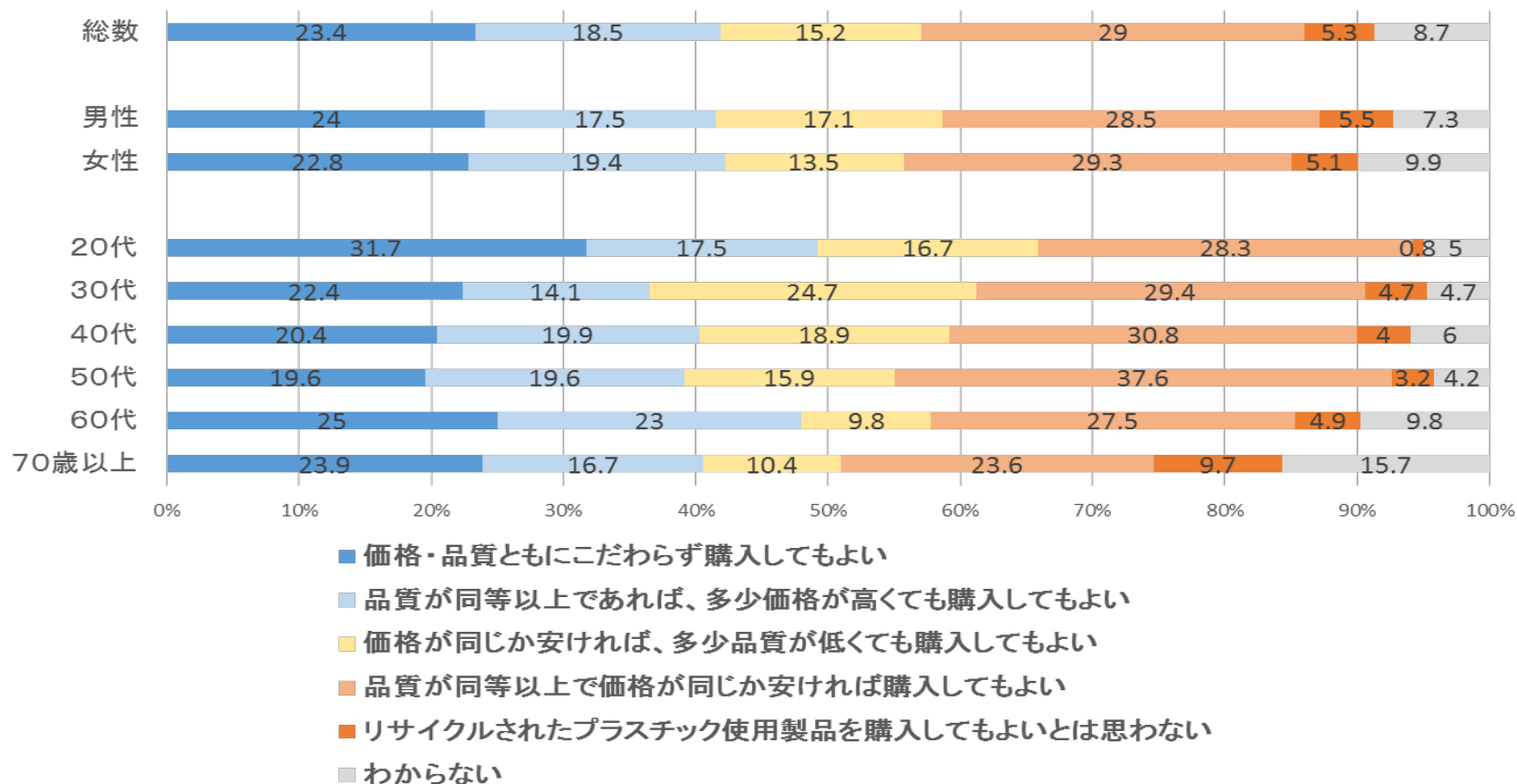


➤ プラスチックに使用される原油の割合を実際(3%)よりも大きく考えている意見が大多数

リサイクルされたプラスチックを購入しても良い条件

Q8(回答票) 普段の買い物の際、どのような条件が合えばリサイクルされたプラスチックを使用した製品を購入しても良いと思いますか。あなたの考えに最も近いものをこの中から1つだけお答えください

リサイクルされたプラスチックを購入しても良い条件

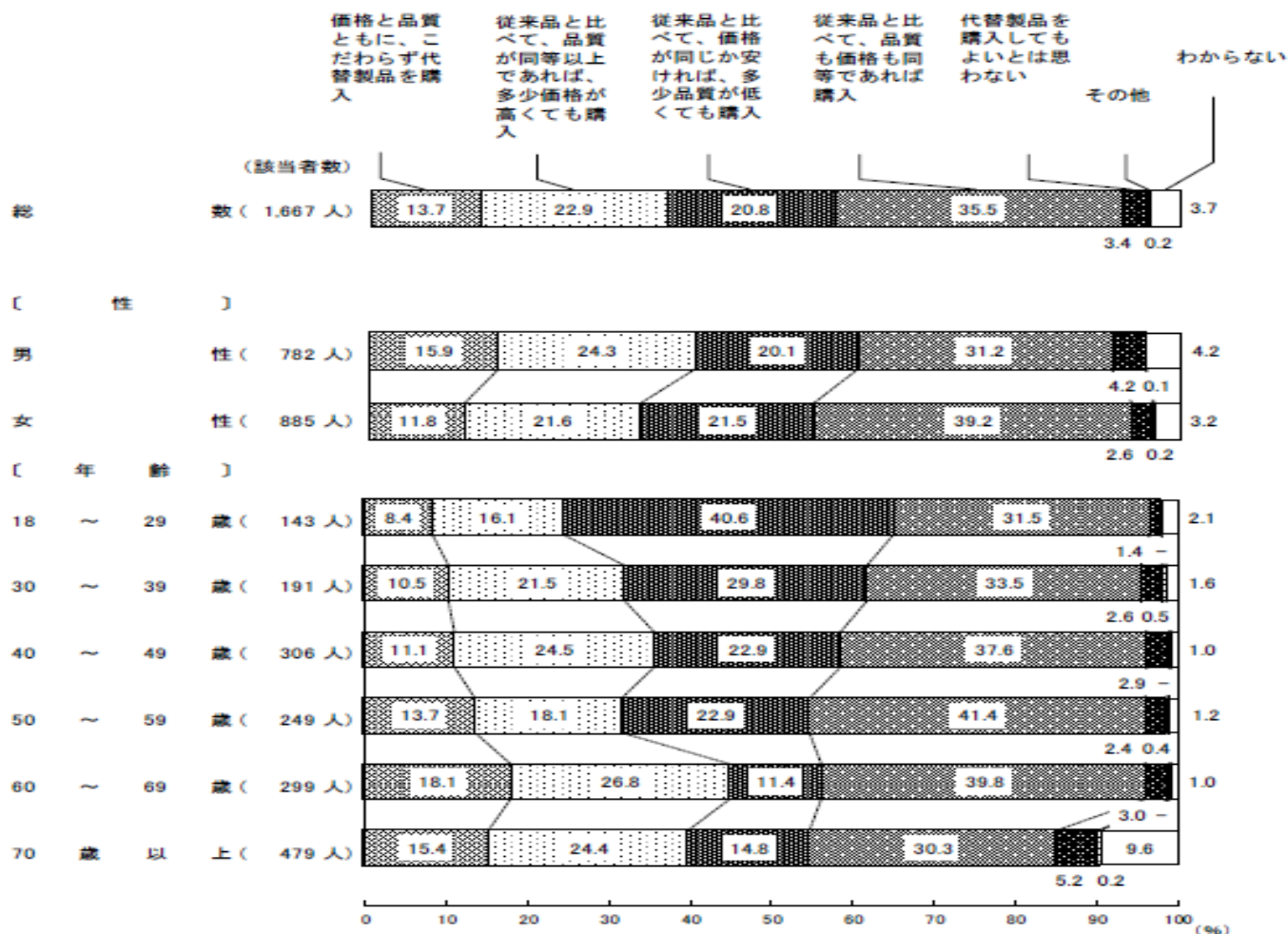


➤ 環境(リサイクル)重視意見(40%強)と、コスト重視意見(45%程度)で拮抗している状況

内閣府「環境問題に関する世論調査」結果

2019.10.25結果公表

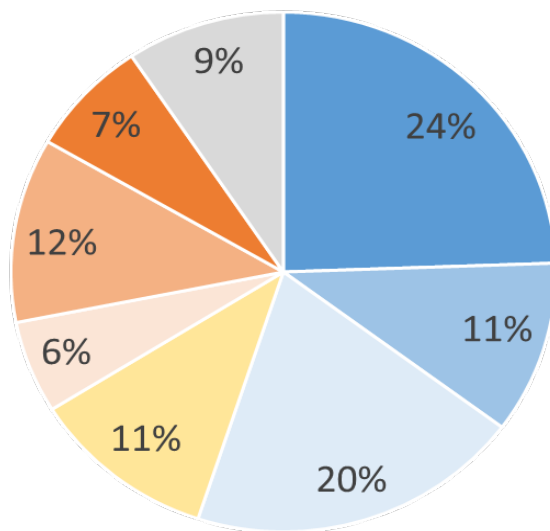
問5 あなたは、普段の買い物の際、どのような条件が合えば、代替製品を購入してもよいと思いますか。価格・品質などの条件のうち、あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選んでください。



バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック製品 負担増に関して許容できる価格について

Q9(回答票) バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック製品は従来品と比べて価格が高くなる場合があります。
通常価格が500円のお弁当の容器がこのようなプラスチックで出来ている場合、どのくらいの価格であれば購入してもよいと思いますか。この中から1つだけお答えください

購入しても良い弁当の価格(通常価格500円)



- 従来品と変わらず500円でなければ購入しない
- 510円までであれば購入してもよい
- 520円までであれば購入してもよい
- 530円までであれば購入してもよい
- 550円までであれば購入してもよい
- 551円以上であっても購入してもよい
- わからない

- 価格上昇を許容しない意見が24%、10円未満の価格上昇のみ許容する意見が約30%
- 50円またはそれ以上の価格上昇を許容する意見が約20%程度



以上